

H22. 8. 30 (月)

定住自立圏構想推進セミナー in 富山

事例報告

南信州定住自立圏について

長野県 飯田市

日本の尾根を両翼に抱える山都

東西の自然・文化・交通が交わり、人と人が交わる場所。



	飯田市	南信州
○面積	658.76 km ²	1,929.19 km ²
経営耕地総面積	2,034 ha (H18)	5,582 ha (H18)
○人口	105,691人	170,577人
高齢化率	28.1%	29.5%
○世帯数	37,579世帯	58,477世帯
総農家数	5,349 (H18)	12,358 (H18)
○標高（市役所）	499.02m	
	農地は350mから1,000m	
○気象	平均気温 13.3℃	
年間降水量	1,622.5mm	

〔平成21年10月1日現在〕

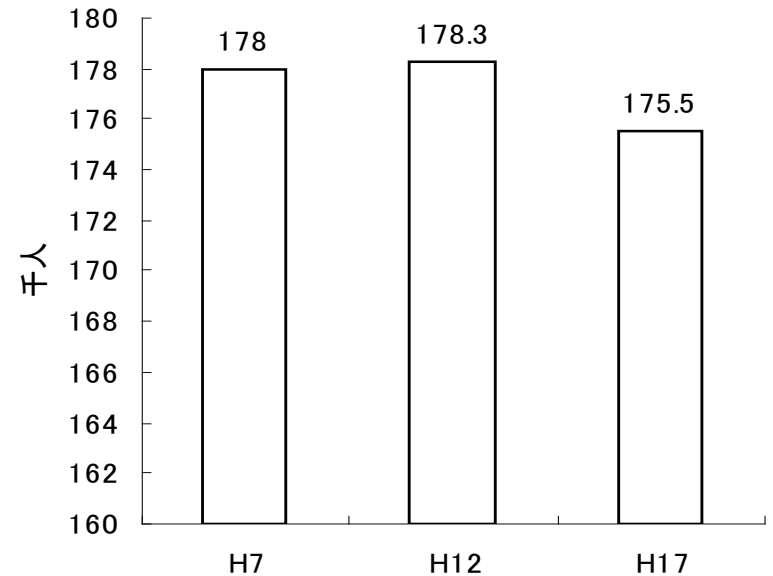
南信州圏域の概要（人口等）

	飯田市	下伊那郡	圏域全体	備考
面積	658.76km ²	1270.43km ²	1929.19km ²	H21.10.1
人口	105,691人 (62%)	64,886人 (38%)	170,577人	H21.10.1
農業 農業産出額	113億円余 (45%)	139億円余 (55%)	252億円余	H19年度
製造業 年間製造品出荷額	2,720億円余 (69%)	1,212億円余 (31%)	3,932億円余	H19年度
卸売業 年間商品販売額	1,210億円余 (83%)	246億円余 (17%)	1,456億円余	H19年度
小売業 年間商品販売額	1,358億円余 (74%)	467億円余 (26%)	1,820億円余	H19年度

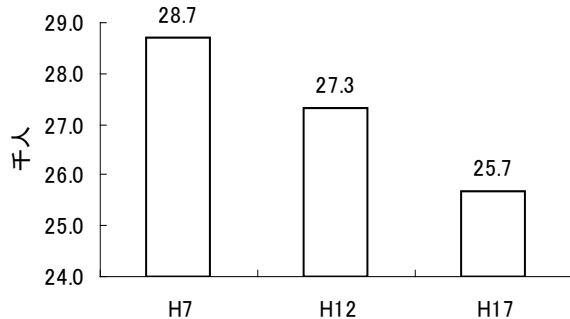
南信州圏域の人口動向

市町村名	H7	H12	H17
飯田市	110,204	110,589	108,624
松川町	13,617	14,070	14,117
高森町	12,252	12,528	12,976
阿南町	6,565	6,232	5,972
清内路村	889	781	777
阿智村	6,909	6,976	6,771
平谷村	660	712	688
根羽村	1,522	1,380	1,253
下條村	4,004	4,075	4,210
売木村	756	741	735
天龍村	2,445	2,239	2,002
泰阜村	2,270	2,237	2,062
喬木村	7,111	7,089	6,912
豊丘村	7,169	7,221	7,068
大鹿村	1,641	1,522	1,356
計	178,014	178,392	175,523

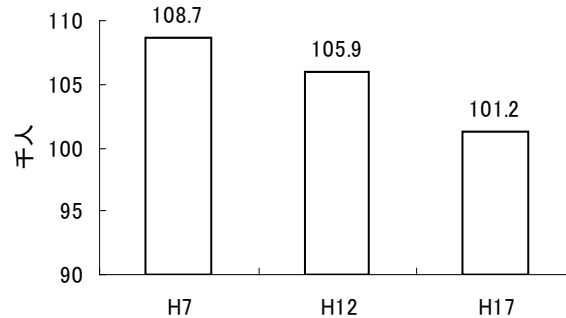
総人口の推移



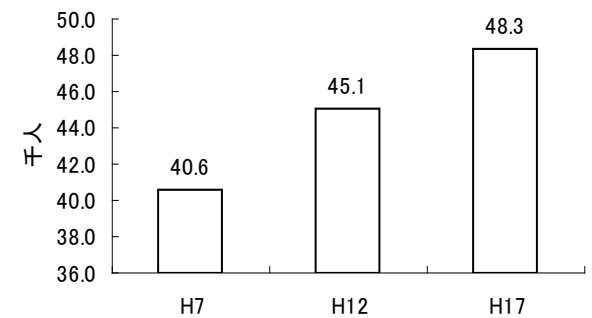
14才以下人口の推移



生産年齢人口の推移



65才以上人口の推移



定住自立圏 形成協定の内容

1 生活機能の強化

- 救急医療体制の確保
- 産科医療体制の確保
- 大規模災害医療救護体制の整備
- 圏域健康計画の策定
- 地場産業センターの運営等
- 鳥獣害防止総合対策
- 地域ぐるみによる環境関連活動

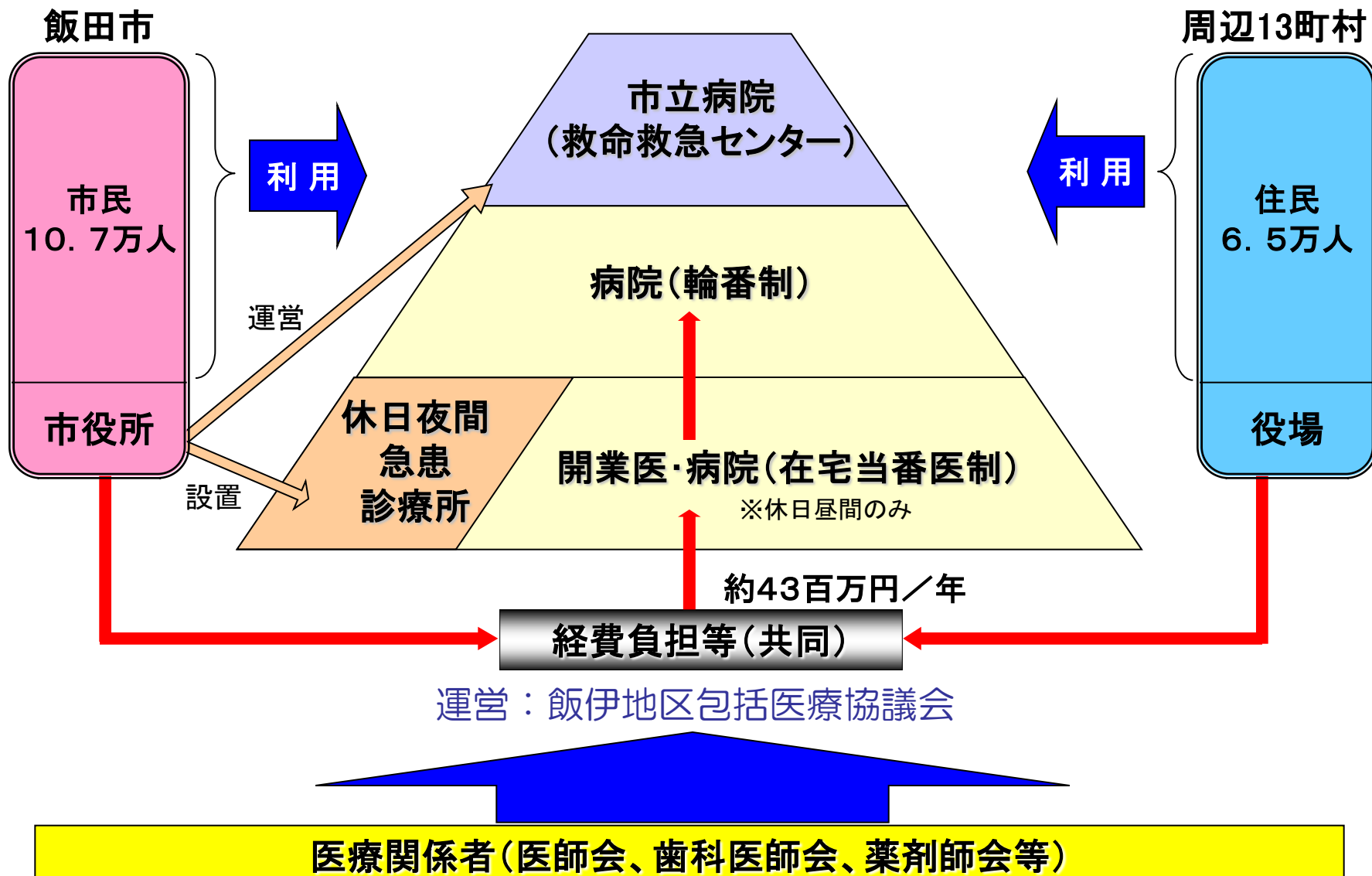
2 結びつきやネットワークの強化

- 地域公共交通ネットワークの構築
- 地域情報共有システムの構築
- にぎわい拠点の整備

3 圏域マネジメント能力の強化

- 圏域外の専門家の招へい
- 合同研修など

医療分野の取組（救急医療体制の確保）



産科医療体制の確保

定住自立圏
協定項目

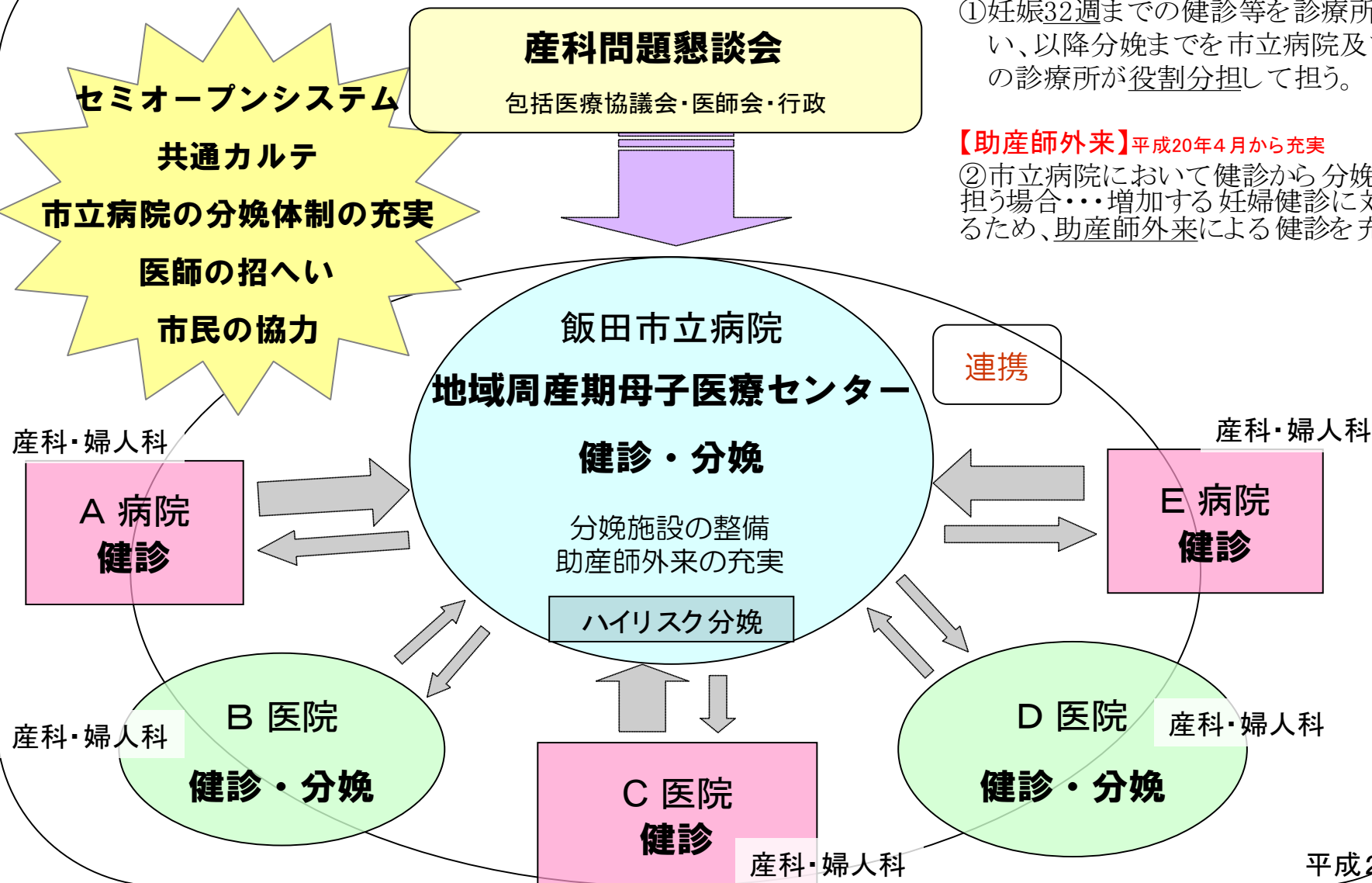
～ 分娩を取扱う医療機関が減少する中で～
～ 地域の連携により産科医療を守る～

【役割分担と連携】平成18年2月から

①妊娠32週までの健診等を診療所が担い、以降分娩までを市立病院及び2つの診療所が役割分担して担う。

【助産師外来】平成20年4月から充実

②市立病院において健診から分娩までを担う場合・・・増加する妊婦健診に対応するため、助産師外来による健診を充実。



平成20年度

協定外

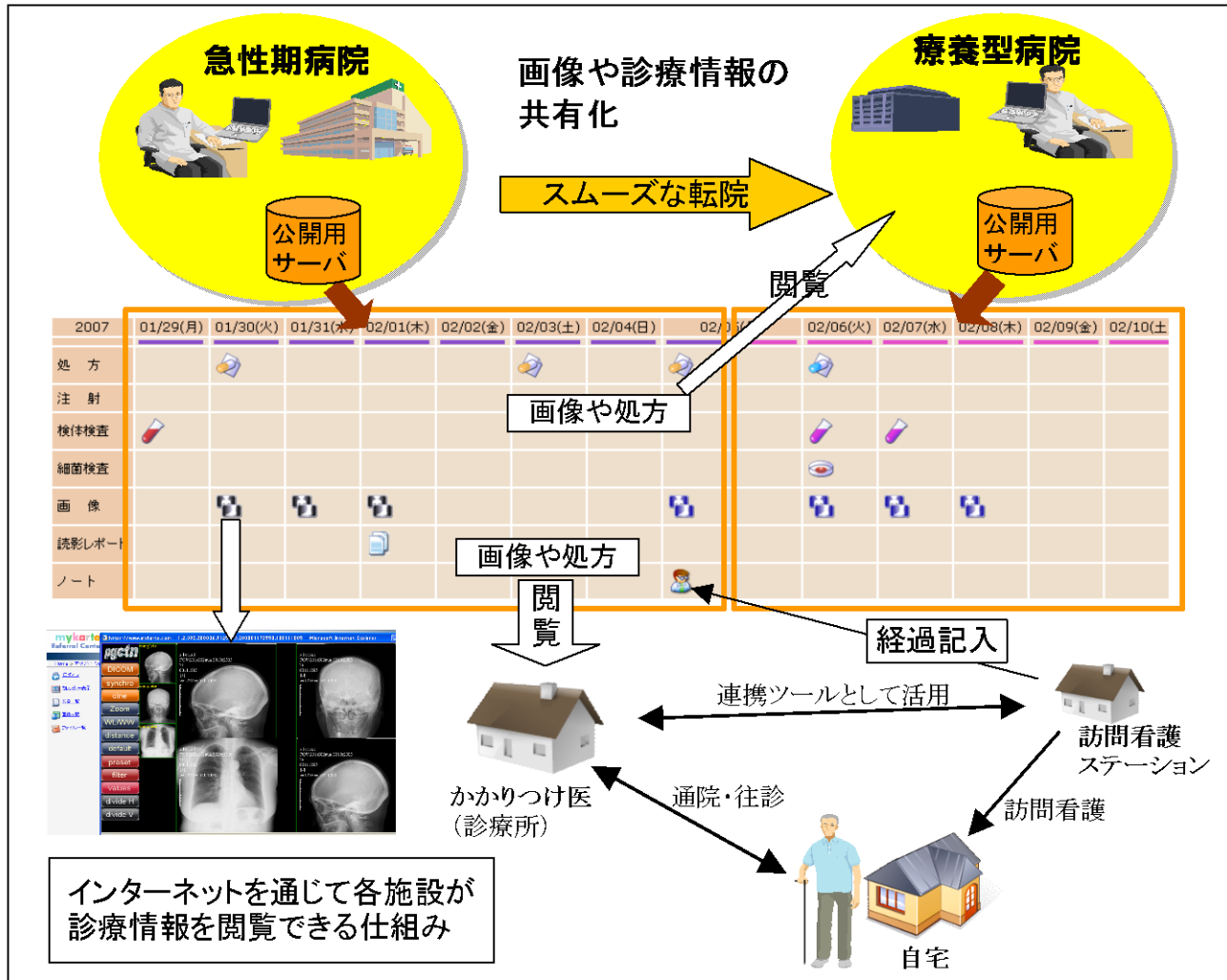
飯田市立病院医師の圏域他病院への診療支援

主要病院名	病 床 数					診療支援の状況 (平成21年度)
	一般	療養	精神	感染	計	
飯田市立病院	403	0	0	4	407	
長野県立阿南病院	93	0	46	0	139	脳外科 (1回/4週) 乳腺外科 (1回/隔週) 病理 (1回/隔週)
飯田病院	212	0	240	0	452	消化器内科 (1回/週) 外科 (1回/週)
輝山会記念病院	52	147	0	0	199	—
健和会病院	127	72	0	0	199	麻酔科 (1回/隔週)
瀬口脳神経外科病院	66	0	0	0	66	—
下伊那赤十字病院	66	46	0	0	112	腎臓内科 (1回/隔週)
下伊那厚生病院	50	49	0	0	99	麻酔科 (1回/月)

※ 飯田病院から飯田市立病院への診療支援 精神科医 (1回/週)

協定外

飯田下伊那診療情報連携システム



当地域の高齢化が進む中

急性期病院

療養型病院

介護施設
or 在宅復帰

この仕組みを地域全体で補完しあうことが重要。

地域連携を進めるためのIT基盤整備

公開用サーバ設置病院
飯田市立病院／飯田病院／健和会病院
輝山会記念病院／瀬口脳神経外科病院

平成21年度にハード整備

定住自立圏
協定項目

飯伊地域地場産業振興センター

～地域のものづくりの明日を拓く中心組織として～

主な企業群

精密機械工業系 130社
電気・電子工業系 30社
食品産業系 160社
伝統産業(水引他) 40社

大学・公設試験機関

信州大学
明治大学
長野高専
諏訪東京理科大学
長野県総合技術センター
三遠南信ネットワーク
浜松商工会議所
豊橋商工会議所

域外との結びつきを強める

ものづくりの拠点

～飯田独自の事業展開～

- ◆地域産業振興事業
- ◆産業技術大学
- ◆ビジネスネットワーク支援センター
- ◆工業技術センター(各種試験・技術相談)
- ◆EMCセンター(電磁波防止技術関連)
- ◆環境技術開発センター(インキュベーション関連)
- ◆地場産品紹介、販売



資金
人材

自治体

長野県

飯田市、周辺13町村

支援機関

飯田商工会議所

商工会連合会

金融機関

飯田信用金庫

八十二銀行

シンクタンク

しんきんシンクタンク

企業OB

テーマ別

食農 サイエンス・クリエイト(愛知)
航空 中部航空宇宙技術センター(愛知)
まんてんプロジェクト(神奈川)
ウイングウィン(岡山)、OWO(大阪)

圏域産業の中核的な支援機関である地場産業振興センターの施設及び人材を充実させ、圏域内の企業に対し人材育成、新事業展開、新規創業等の支援を行うことにより、企業の経営及び技術の革新並びに産業クラスターの形成を目指します。

産官協働による環境産業のダイナミズム創発を目指して

「飯田」発「全国」へ LED防犯灯開発プロジェクト

飯田市
(環境モデル
都市)

バックアップ

飯伊地域地場産業
振興センター
(地域産業の活性化)



ビジネスネットワーク支援センター登録企業グループ

NESUC-IIDA
【ネスクーイダ】

南信州下伊那共同受発注グループ

- 第3セクターで共同受注窓口として、飯田下伊那地域企業のコーディネートを行っています。
- 精密・電子・光学などの様々な業種、試作品から量産物まで幅広いニーズに対応しています。
- 地域内のネットワーク連携で新しい分野への取り組みを行っています。

(登録企業…56社)

LED
防犯灯の開発



NESUC-IIDAの中から
18社により省電力・小型化・低価格の
2機種の開発・製造に成功

【ステップ1】
平成21年度
飯田市内にある
6,000基の内
3,000基をLED化

【ステップ2】
周辺13町村への
製品紹介並びに
販売促進を実施

【ステップ3】
環境モデル都市を
はじめ他の自治体
への製品紹介並びに
販売促進を実施

協定外

緊急雇用奨励補助金 (飯田市・周辺町村)

趣旨 新規高卒者等の地元就職促進のため、新規高卒者等を雇用した事業者に対し奨励金を交付する(H22年度)

背景

高校生の就職希望者約350人に対し
求人は200人(H20の求人460人)
(H21.7月末)

事業の内容

- 【名目】 新規採用者の研修費用として
- 【仕組み】 採用一人あたり50万円を交付
- 【負担割合】 事業所の住所地と本人の
住所地が異なる場合は折半

新規高等学校卒業者の就職内定率

平成22年2月末日

北部	東部	中部	南部
89.1%	85.1%	87.8%	95.5%

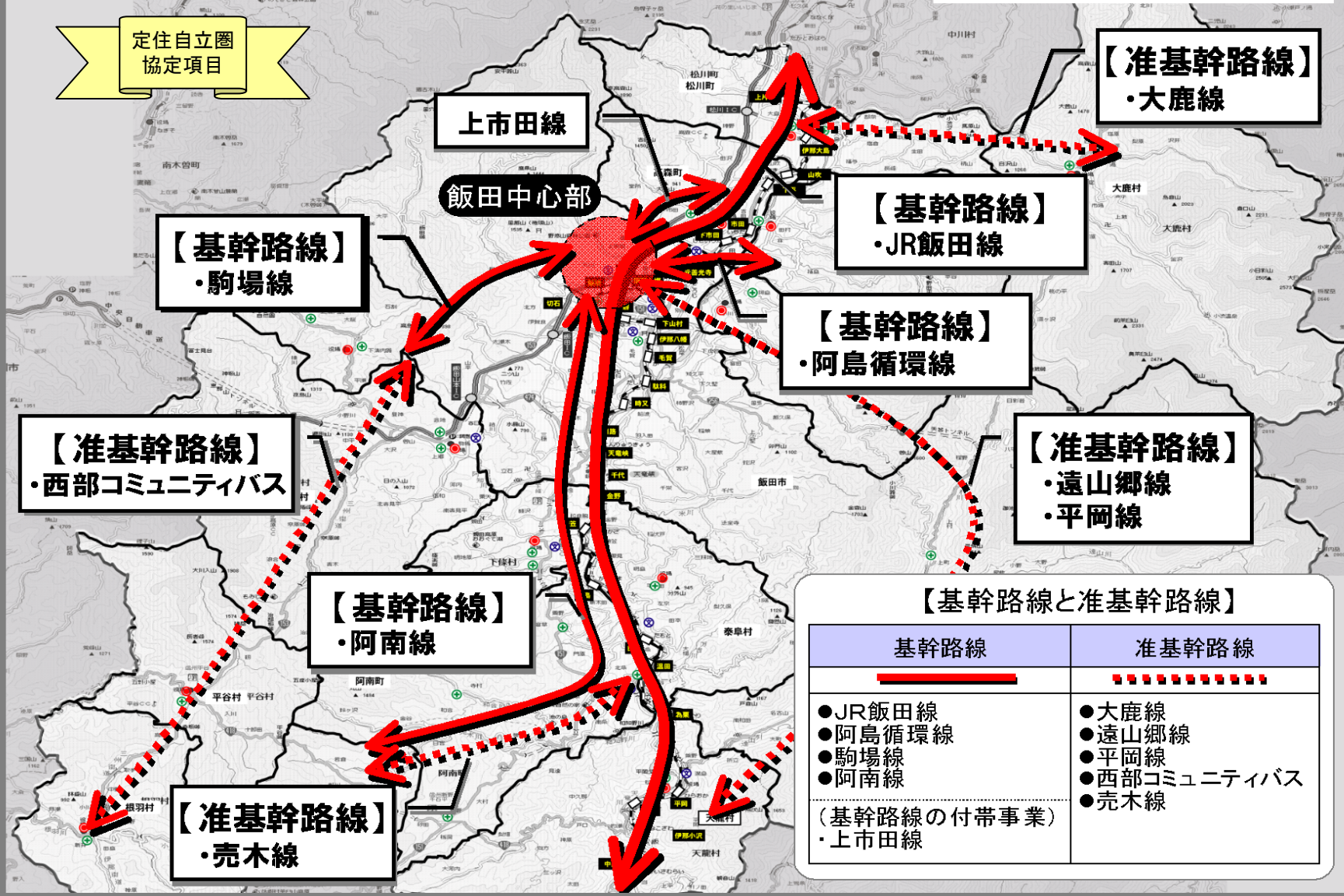
県平均 90.3%

南信州圏域
95.1%

地域公共交通ネットワークの現況

基幹路線、準基幹路線に
各自治体の支線を接続させる

定住自立圏
協定項目



【基幹路線と準基幹路線】

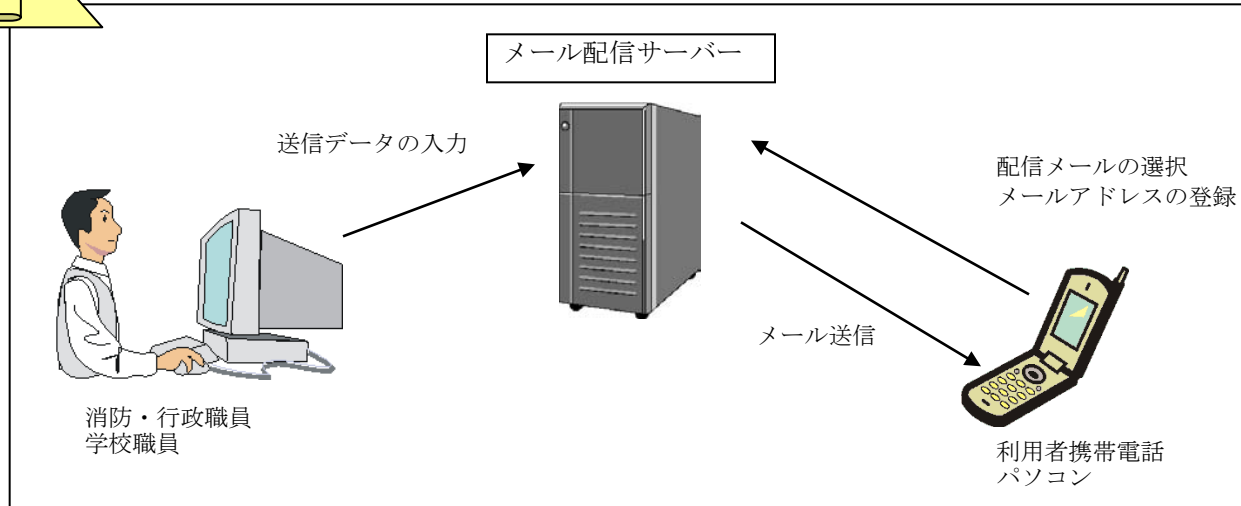
基幹路線	準基幹路線
<ul style="list-style-type: none"> ●JR飯田線 ●阿島循環線 ●駒場線 ●阿南線 	<ul style="list-style-type: none"> ●大鹿線 ●遠山郷線 ●平岡線 ●西部コミュニティバス ●売木線
(基幹路線の付帯事業) ・上市田線	

全公共交通の体系化＋統一運行ルール＋利用促進

地域情報共有システムの構築

定住自立圏
協定項目

「安心・安全メール」配信システムのイメージ



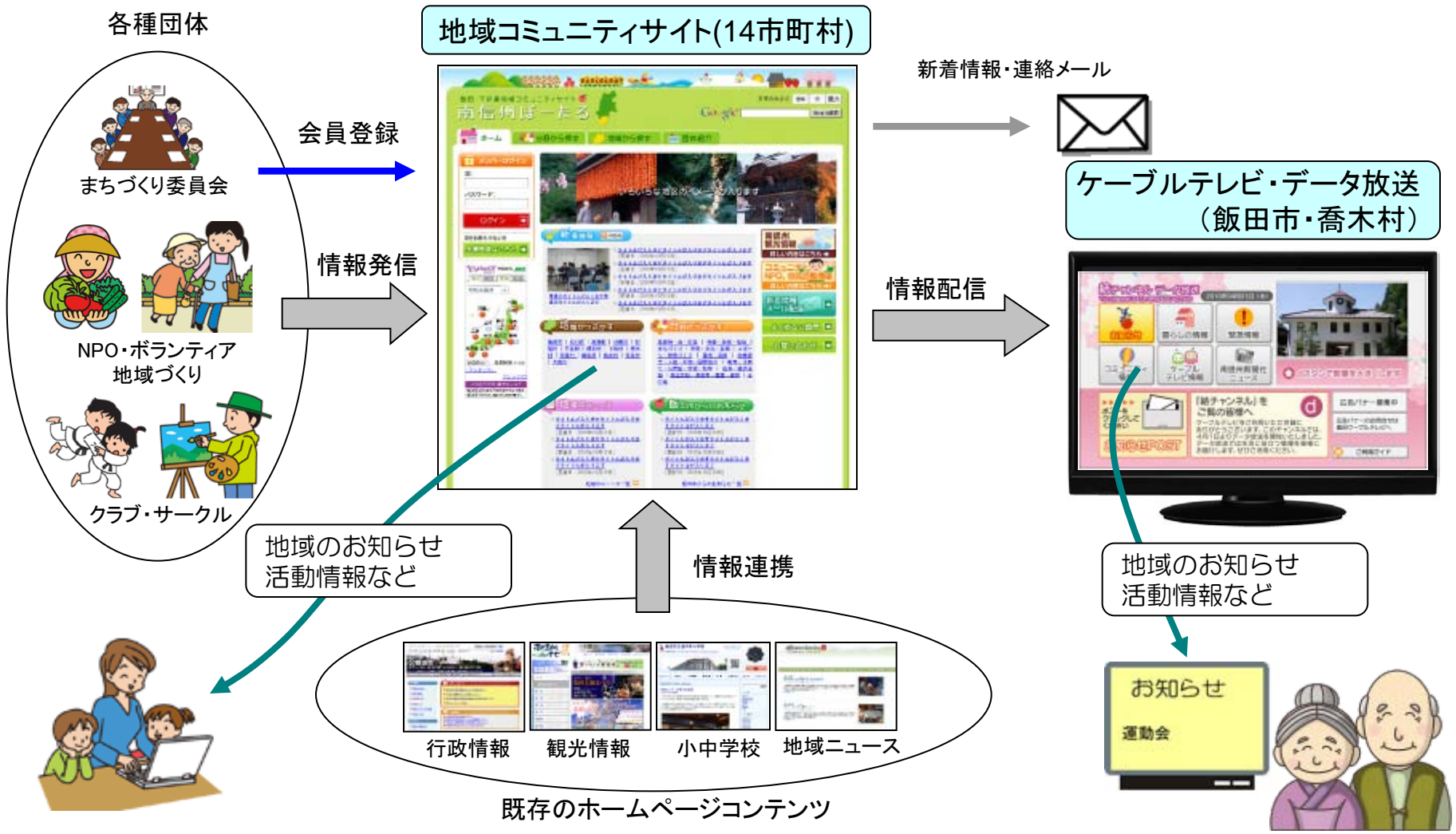
- ・メールアドレスを登録した利用者に、火災情報や行政情報を配信する。
個別利用として小中学校、幼・保育園の連絡用、市町村職員への連絡、消防職員への連絡手段として利用する。

<運用チャネル>

- 行政情報 …行政情報(「気象・災害・地震」、「事件・事故・犯罪」、「不審者」、「行政一般」選択、居住地区入力)
…火災情報(市町村選択可)
- 小中学校、幼・保育園 …行事等連絡用、不審者情報等の配信(学校、園毎)
- 消防関係 …消防団員、消防職員向けメール配信(団毎)
- 内部連絡 …市町村職員向けメール配信(市町村毎)

<運営経費>

登録メールアドレス数	月額 (年額換算)※税抜き
～10,000	70千円 (840千円)
～20,000	120千円(1,440千円)
～30,000	160千円(1,920千円)
～40,000	195千円(2,340千円)
⋮	⋮



地域コミュニティサイト（14市町村）

- ・各種団体が、手軽にインターネット上の情報発信を可能に。
- ・入力情報は、ケーブルテレビのデータ放送（飯田市及び喬木村、下記参照）にも公開。
- ・入力情報の閲覧を会員団体のメンバーに限定することも可能。
- ・財源：広告収入、会員団体負担金、市町村負担金

ケーブルテレビ・データ放送（飯田市・喬木村）

- ・ケーブルテレビのデジタル12チャンネルを利用して、映像及び文字情報を同時に放送。
（専用チューナーは不要。データ放送対応のデジタルテレビで視聴可能。）
- ・配信情報
 - ①お知らせ（市役所（役場）からのお知らせ）
 - ②暮らしの情報（リサイクルカレンダー、休日当番医、お悔やみ情報、各種相談窓口案内）
 - ③緊急情報（「安心・安全メール」で配信される火災情報、行政情報）
 - ④コミュニティ情報（「地域コミュニティサイト」の掲載情報のうち、南信州全体を対象とした情報）
 - ⑤お知らせポスト（「地域コミュニティサイト」の掲載情報のうち、配信先（飯田市、喬木村等）を指定された情報）
 - ⑥その他
- ・財源：構築経費・国庫補助金を除いた一般財源分を、2市村で均等負担
運営経費・経費の性格ごとに、加入世帯比や均等により積み上げて、2市村で負担